

一人一人のイメージを大切にした音楽づくり

5年生「ようすを表す音楽づくり」から

井坂雅浩

1. はじめに

本校の音楽科では、学習集団の中で一人一人児童が、自分の持つ力を発揮しながら、互いにその音楽性をより高めていく指導を個が生きる授業と捉え、実践を重ねてきた。

表現や鑑賞の活動を通して児童が主体的に学習し、それが結果として美しい表現に結び付けばそれは理想の姿であろう。しかし最も重要なことは、どのような表現ができたかという結果ではなくて、児童自らが、どのような表現にしようかと考え、工夫し、どのような努力をしたかという過程にある。なぜなら、教師の持つ基準によって児童を指導し、いわゆるうまい表現や美しい表現が仮にできたとしても、そこからは自分たちの音楽を工夫していこうとする態度や関心・能力を育成していこうとする姿は浮かび上がってこないからである。児童の、自分たちの音楽をよりよい表現に向かって工夫しようとする態度や関心・能力を引き出し伸ばそうとするためには、児童が自分なりの考えを持ち、判断し、表現することを重視した学習活動でなくてはならない。

学習活動そのものや学習の方向、児童の学習意欲と大いに関連して重要なことに評価がある。

音は時間とともに消える抽象的なものであるから、児童の出した音について時々刻々評価していかなければならないことはもちろんであるが、教師が何をどの様に評価するかによって学習の方向や児童の学習意欲を大いに左右する。学習活動を重視するならば、その指導過程において児童の高まりに対する適切な評価や助言を言葉だけでなく、具体的に音をともなって与えていくことが大切である。そのことが、自分たちが表現しようとしていることには、どうすることがふさわしいのかを考えさせる指導と一体化し、音楽を音色・バランス・テンポ・奏法等について分析的に捉えようとする態度や能力につながると考えるのである。

ここでは、上記のような考えに立って指導した、5年「ようすを表す音楽づくり」の実践について報告する。

2. 指導にあたって

(1) 題材について

「ようすを表す音楽」は、子ども達にとって身近な事象をめざし、関心の高まるような題材を選び、その様子や様子の変化を音楽で表現していこうとするものである。

「ようすを表す音楽」には、ものの動きやできごとを表そうとするものや、不安や喜びといった心象表現をしようとするものなどが考えられる。本学級の児童にとっては、前者の方が表現しやすいと考えたので、「〇〇探検」というテーマを与え、自分たちで考えた探検のできごとを音楽で表現させることにした。この活動を通して、表現にふさわしい音色や強弱、速さ、奏法に気づかせ、音楽をつくる楽しさを味わわせたい。また、音楽材は楽器に限らず、音のするものや音の出るものの中から表現にふさわしいものを選ばせる。



本学級の児童にとっては、自分たちのイメージや様子を表すような音楽創りは初めての活動である。昨年度の児童が創った音楽を鑑賞させたり、どんな様子が思い浮かぶかイメージをふくらませる場を通して、活動の見通しをもたせるようにする。

(2) 指導目標と計画

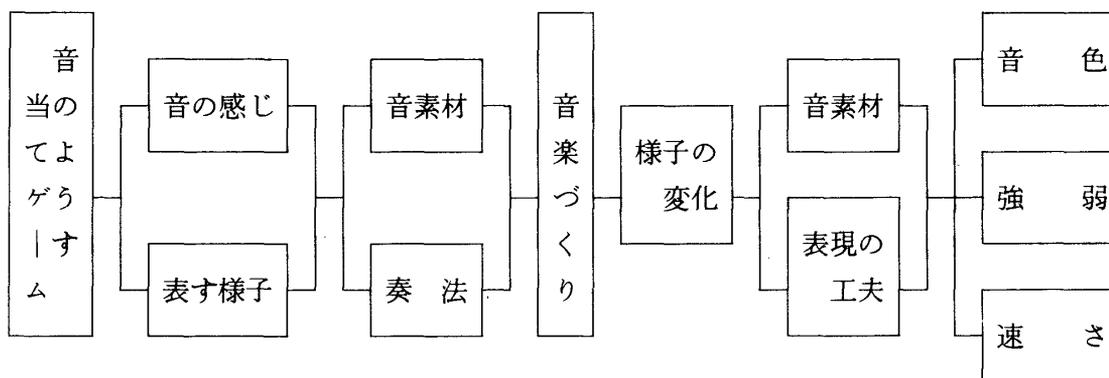
①指導目標

- | |
|--|
| <p>1. 表現にふさわしい音を工夫する音楽づくりのおもしろさを味わわせる。</p> <p>2. 表現にふさわしい音を、音色や強弱・速さなどの工夫をして表現できるようにさせる。</p> |
|--|

②指導内容と計画…………… 9時間

第一次 (3)

第二次 (6)



③個が生きる授業のために

探検というテーマは、子どもの冒険心や想像力ををかきたてイメージが大きく膨らんでいくであろう。しかし、それをグループのメンバーと分担して音楽で表現していくにはかなりの困難が出てくると思われる。そこで、場面をしばって表現させ、抽象的なイメージの世界を具体的な音にしてみるにより、それでよいかどうか試行錯誤させたり考えさせる場を設ける。教師も、できるだけ言葉だけでなく音でアドバイスするよう心がける。グループの数や活動の多さからいって、十分時間がとれないことが予想されるが、相互評価したり自己評価することも大切にしていきたい。

3. 授業の実際 (第二次・第2時分)

(1) 本時の目標

「ようすを表す音楽」に必要な音を探し、その音の出し方を工夫して表現させる。

(2) 準備

- ・学習カード ・記録用紙 ・表現に必要な楽器、音素材 ・録音テープ

(3) 評価の観点

音楽への関心 ・意欲・態度	いろいろな音に興味を持ち、友だちと協力して音楽づくりに取り組む。
音楽的な感受 や表現の工夫	表したい内容を音楽の表現に結び付け、それにふさわしい表現になるよう工夫できる。
表現の技能	表したい内容にふさわしい音色で表現することができる。
鑑賞の能力	他のグループの表現を音色に気を付けて聴き、その良さや、直したらよい点などを指摘したり気づいたりすることができる。

(4) 指導過程

学 習 過 程	指 導 上 の 留 意 点
<p>1. 本時の課題をつかむ。</p> <p>2. 表したい様子を音で表現してみる。</p> <p>3. グループごとに「様子を表す音楽」の表現をして聴き合う。</p> <div style="text-align: center;"> <p>場面 音</p> <hr/> <p>音の出し方</p> <hr/> <p>奏法 音色 強弱 バランス</p> </div> <p>4. 本時のまとめをする。</p>	<p>1. 学習カードを使い前時の学習を想起させ、本時のめあてを確認することで、本時の学習の心構えを抱かせる。</p> <p>2. 自分の表したい様子のイメージを確かなものにするために、実際に音を探したり奏法を工夫させる場とする。</p> <p>3. それぞれが表現したい断片的なものを、音楽としてまとめたものにしていくために場面をしばって表現させ、表したい内容の音楽に結び付くよう試行錯誤させる。</p> <p style="text-align: center;">表したい内容を表現するのにふさわしい表現は、速度・強弱・音色・奏法・バランスの何を工夫したら良いか、実際の音で助言したり評価したりする。</p> <p style="text-align: center;">友だちの演奏の良さや、様子がよく感じられる部分を確認し合うために相互評価する場を設ける。</p> <p>4. 自分自身について、本時で良くなった点、もっと良くしたい点を確認させ、本時のまとめとする。</p>



(5) 児童の活動と反応

①児童が表現しようとした内容

5～6人のグループを作り、各グループでどんな探検の内容にするか話し合い音探しをしながら場面を絞って試行錯誤しながら音楽づくりをしていった。各グループのテーマとあらすじはつぎのようなものであった。

1) 森の探検 ジャングルの中へ入っていったら突然大きな象が現れて去っていくようです。	5) 洞窟の探検 暗い深い洞窟に入ったら、未来の世界が待ちかまえている。
2) 海底の探検 歓迎されて海に出かけて行く。1万メートルの深海に潜って行くが・・・。	6) 海の探検 海で嵐に合い船が漂流してしまう。その後島にたどり着く。
3) 山の探検 小鳥たちが鳴く静かな森に行って、森の動物たちと楽しく遊ぶ。	7) 海底の探検 潜水艦で海に潜って行く。ジョーズが襲ってくるが無事帰れる。
4) 地底探検 海賊の宝を探しに洞窟に入っていくが、地震で出口がふさがれる・・・。	

②授業記録より

…………… 前 略 ……………

T：今日は、自分たちの探検の音楽の一場面を絞って音楽づくりをしますが、その中で、自分はどうな様子を音で表すのかを学習カードに書きなさい。…………… E君はコウモリの飛ぶ音と書いているけど、コウモリがどんなふうに飛ぶの。

C：バタバタとです。

T：1びきが飛ぶのと大勢がにぎやかに飛ぶのでは、音で表したらずいぶん違うよ。他にも、波の音とか風の音とか書いている人がいますが、小波なのか大波なのか嵐なのか、それがどの様に変化するのか考えておくと、音のイメージがぐんとはっきりしますよ。

…………… 中 略 ……………

T：今から5分間、自分の思った音が出るかどうか、自由に音を出して確かめてみましょう。

……………児童は、思い思いの楽器で自分のイメージした音になるよう、
奏法を工夫しながら試行錯誤した。……………

T：それでは、今日一人一人が表そうとしたところをグループで発表してもらいます。発表するグループは、どんな場面をやるのか説明してから発表してください。聴いている人は、様子の良く分かったところ、すごいなと思ったところや直したほうがいいのではないかと考えたことを発表が終わったらすぐ言きましょう。

C：私たちは、海に出て行ってだんだん潜って行くのですが、そこへ鮫が出てくるところまでをやります。(上記②のグループ)

演奏：クラリネット、フルート、鉄琴、小太鼓、ティンパニー、トライアングル、アコーディオン

C：KさんとTさんが小太鼓とクラリネットでやったところは、何かの大会の始めみたいでよく分かりました。

C：Kさんの小太鼓の音は、クラリネットの音が主なふしだと思うのでもう少し小さいほうが良い
と思いました。

T：クラリネットのファンファーレみたいな音楽よく考えましたね。小太鼓を入れようと思った
アイデアが素晴らしい。リズムもとっても良かったし連打も上手だったよ。確かに少し大き
かったから、こんなふうに（実際に打ってみせる）鼓面の端を打つといいよ。それから、フルート
と鉄琴のところは、海に潜って行くところですか。和音がきれいだったね。フルートのトリル
がブクブクって潜る感じがとてもでていましたよ。鉄琴ももう少し（実際に演奏してみせる）
柔らかく打つとフワリフワリという感じがでるよ。 トライアングル、ティンパニーの音の大き
さはとても良かったです。それからもう一つすごく感心したことです。音を出すところや切
るところを皆が指揮者みたいに手や体を使って合図を出し合っていました。音楽の合奏をする
ときにはとても大切なことですね。素晴らしいと思いましたよ。じゃあ、いま言ったことに気
を付けてもう一度やってみよう。

…………… 中 略 ……………

C：洞窟に入って行ったら、未来の世界があるという場面をやります。(⑤のグループ)

演奏：木琴、鉄琴、パーチャイム、ピアノ、ティンパニー、トライアングル

C：木琴と鉄琴が交代で打っていたところは、水がポツタンポツタン落ちてくる様子
が良く分かりました。

C：ティンパニーは、もう少し小さいほうが良いと思いました。

C（演奏者）：いいえ。岩が崩れてくるところだから、もっと大きいぐらいでもいいのです。

T：そうかあ、なるほどね。でも、岩もいきなりは崩れんだろう。最初パラパラッと土が落ちてき
て、それからドドーッと（実際にppのロールからクレッシェンドffで演奏してみせる）崩
れるよね。それから、木琴と鉄琴は水なの。よく聴いていましたねえ。先生は、暗い洞窟を歩
いている足音かと思ったけど、良く感じが出ていました。

…………… 中 略 ……………

C：静かな森に入って行って、森の動物たちと楽しく遊ぶ場面をやります。(③のグループ)

演奏：ピアノ、木琴、カスタネット、タンバリン、すず、小太鼓

C：動物と遊ぶところは、すごく楽しそうな音楽で良かったと思いますが、小太鼓のリズムがうまく合
っていませんでした。

C（演奏者側）：小太鼓は昨日の大休憩に決めたからEさんは良く分からなかったのだと思います。

C：始めから終わりまで同じ様な感じがしたので、変化をつけたらいいと思います。

T：動物と遊ぶところのふしは、ピアノのKさんがつくったの。良く考えたねえ。すごくいいふし
ですよ。楽しい音楽っていろいろあるけど、ふしがどんなになっているのが多いかな。

C：はずんだ感じ。

T：そう。(Kさんの考えたふしをピアノでスタッカートをつけて弾いてみせる。) こんなふうにや
ると、始めの部分と変化がついてくるでしょう。それに、始めの部分は静かな森なのだから全
体にもっと小さい音のほうが良いかも知れないよ。

…………… 後 略 ……………

4. 指導後の考察

児童が自分なりの考えを持ち、判断し、表現する学習活動であったか。また、それが、児童の自分たちの音楽をよりよい表現に向かって工夫しようとする態度や関心・能力につながったか。

毎時間学習のはじめに、その時間に自分の表したい様子を音でどの様に表現するのかを学習カードに書かせた。自分のイメージをできるだけ細かく具体的に持たせるよう留意したが、漠然としたイメージしか持っていない児童には、意図的に質問してイメージを具体化できるようにした（授業記録アンダーライン_____部分）。それをもとに、実際に自分の思った音になるかどうか試す場を設けた。その結果、授業記録アンダーライン_____部分に見られるように、自分の考えを意図的に表現しようとするようになってきていると考える。

どの様に考え工夫を重ねても答えの無いのが音楽である。児童が、より良い音楽にしていこうとするよりどころとなるのが教師や友達の評価である。特にこの様な創造的な音楽学習では、表したい様子に合う音や奏法に対するイメージの質を高めることが重要になる。表したい様子のイメージが希薄であったり、求める音の質が低ければより良い表現になりようが無いと考えたので、言葉による評価や指示だけでなく、教師が、児童のニーズに合ったもので、しかも質の良い（高い）演奏をして、どうすることがより良くなるのかを考えさせ判断させるよう配慮した（授業記録アンダーライン_____部分）。

聴いている児童からも事業記録アンダーライン_____に見られるような発言が出たことは、音楽を分析的に捉えた評価だと考える。

児童の工夫・努力・意欲に対して、教師が評価・反応したのが授業記録アンダーライン_____部分である。マイナス評価は学習意欲に結び付きにくいので、できるだけプラスの評価を心がけたが、授業記録アンダーライン_____部分に対しては、その努力に対して大いに反応してやるべきだったと反省している。

発表会後の児童の感想からも伺えるように、概ね楽しみながら意欲的に学習に取り組んだと言える。楽しくなかったと答えている児童のうち2名は、人間関係や楽器等の物理的なことが理由になっている。これらのことは、表現活動や音楽学習にとって大変重要なことであるので、数は少ないが今後大切にしていかなければならない問題であると考えている。

発表会終了後の児童の感想

○探検の音楽づくりは楽しかったですか。

楽しかった 35名 楽しくなかった 3名

○楽しかった理由（主なもの）

- ・はじめからある音楽をやるのではなくて、自分たちで考えて創っていくのが楽しかった。
- ・最初はうまくいかなかったけれど、練習していたらだんだん良くなった。
- ・友達と相談しながら楽しく学習できた。

○楽しくなかった理由

- ・自分で考えたり創ったりするのが、めんどくさい。（1名）
- ・考えたり創ったりするのは楽しいのだけれども、友達と意見が合わなかった。（1名）
- ・練習するときに楽器や場所が無かったりしたこと。（1名）